



2019年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2018年11月13日

上場会社名 オイシックス・ラ・大地株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3182 URL <http://www.oisixradaichi.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高島 宏平
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部本部長 (氏名) 山中 初 (TEL) 03(6867)1149
 四半期報告書提出予定日 2018年11月14日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第2四半期の連結業績 (2018年4月1日~2018年9月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		EBITDA		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第2四半期	31,720	67.5	1,115	369.5	1,513	138.1	893	856.2
2018年3月期第2四半期	18,935	76.7	237	△12.3	635	62.5	93	△50.2

(注) 包括利益 2019年3月期第2四半期 894百万円 (854.9%) 2018年3月期第2四半期 93百万円 (△50.0%)

(注) 添付資料2ページ「(1) 経営成績に関する説明」に記載のとおり、連結子会社のらでいっしゅぼーや株式会社については、2018年3月1日から2018年9月30日までの7か月間の損益を連結しております。

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第2四半期	26.83	26.39
2018年3月期第2四半期	2.92	2.85

(注) EBITDAは、営業利益+減価償却費+のれん償却額としています。

(注) 当社は2018年4月1日付で、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。また、2018年10月1日付で、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首にこれらの株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第2四半期	20,648	11,013	53.2
2018年3月期	19,846	10,048	50.6

(参考) 自己資本 2019年3月期第2四半期 10,983百万円 2018年3月期 10,045百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2019年3月期	—	0.00	—	—	—
2019年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年3月期の連結業績予想（2018年4月1日～2019年3月31日）

（％表示は対前期増減率）

通 期	売 上 高		営 業 利 益		EBITDA		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
	64,000	60.1	1,800	101.9	2,600	55.6	1,500	532.2	45.31

（注）直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

（注）EBITDAは、営業利益＋減価償却費＋のれん償却額としています。

（注）当社は2018年10月1日付で、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。当連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり当期純利益を算定しております。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年3月期2Q	33,580,164株	2018年3月期	33,102,356株
② 期末自己株式数	2019年3月期2Q	3,516株	2018年3月期	3,340株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2019年3月期2Q	33,316,155株	2018年3月期2Q	32,003,500株

（注）当社は2018年4月1日付で、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。また、2018年10月1日付で、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首にこれらの株式分割が行われたと仮定して期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
- ・「2019年3月期 第1四半期決算短信」より、日付の表示を和暦から西暦に変更しています。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の景気対策などの効果もあり緩やかな景気回復基調で推移したものの、個人消費におきましては、依然として先行きが不透明であり、お客様の選別の目が一段と厳しくなってきております。

近年のEC業界においては、スマートフォンの一層の普及やSNS等を活用した販売経路の多様化が進む中で、市場における価格・サービス競争は激しさを増しており、配達員等の人手不足を背景とした物流コストの上昇や、大手流通における食品宅配サービス事業への参入など、取り巻く環境は依然として厳しい状況にあります。

一方で、共働き世帯の増加や健康志向の上昇など、ライフスタイル・価値観の変化に伴う消費者ニーズがますます多様化する中、近年、国内においてはミールキット市場が拡大しております。また、当社の主たる事業領域である安全性に配慮した食品業界においては、安心・安全に対する消費者の意識が引き続き高い状況にあります。

このような環境の中、当社は、2018年2月に会員制食品宅配事業において約30年の歴史を持つらでいっしゅぼーや株式会社の全株式を株式会社NTTドコモより取得し、同社を子会社化しております。当社グループでは、成長市場である食品EC市場において、既存サービスであるO i s i x及び大地を守る会に、同社のサービスであるらでいっしゅぼーやを加えた3ブランドの独自性・競争優位性の確立に取り組んでまいりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は31,720,279千円（前年同期比67.5%増）となりました。利益面では、営業利益は1,115,411千円（前年同期比369.5%増）、EBITDAは1,513,752千円（前年同期比138.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は893,752千円（前年同期比856.2%増）となりました。

第1四半期連結会計期間より、らでいっしゅぼーや株式会社の子会社化に伴い、同社の四半期損益計算書を四半期連結損益計算書に含めております。

なお、従来、連結子会社のうち決算日が2月28日であるらでいっしゅぼーや株式会社については、同日現在の財務諸表を使用し、連結決算日との間に生じた重要な取引について連結上必要な調整を行ってまいりました。2018年10月1日を効力発生日として、当社が同社を吸収合併することを決定したことを契機に、より適切な連結財務諸表の開示を行うため、第1四半期連結会計期間より連結決算日に本決算に準じた仮決算を行う方法に変更しております。

この変更により、当第2四半期連結累計期間は、2018年3月1日から2018年9月30日までの7か月間を連結し、連結損益計算書を通して調整しております。

①宅配事業（O i s i x）

インターネットを通じて主に食品・食材の直販を行う宅配事業（O i s i x）においては、ミールキットサービス「KitOisix」が引き続き好評を博するなど、定期宅配サービス「おいしくすくらぶ」会員数が、前連結会計年度末（2018年3月末）の169,664人から、当第2四半期連結会計期間末（2018年9月末）には189,352人へ増加しており、期初計画を上回って推移しております。会員数の増加による売上高の増加に加えて、原価率の改善や購買単価の上昇による利益率の上昇により、セグメント利益が大きく増加しております。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の業績は以下のとおりとなりました。

売上高	13,769,035千円（前年同期比20.0%増）
セグメント利益	1,943,350千円（前年同期比39.6%増）

②宅配事業（大地を守る会）

カタログやインターネットを通じて主に食品・食材の直販を行う宅配事業（大地を守る会）においては、新規会員獲得のための販売促進費を投下しており、会員数が、前連結会計年度末（2018年3月末）の44,993人から、当第2四半期連結会計期間末（2018年9月末）には48,611人へ増加しております。一方で、購入頻度が減少したことにより、売上高はほぼ横ばい、新規会員獲得のための販売促進費を抑制した前年同期からの反動減などにより、セグメント利益は減少しております。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の業績は以下のとおりとなりました。

売上高	5,440,194千円（前年同期比0.9%減）
セグメント利益	785,602千円（前年同期比13.1%減）

③宅配事業（らでいっしゅぼーや）

カタログやインターネットを通じて主に食品・食材の直販を行う宅配事業（らでいっしゅぼーや）においては、新規会員獲得のための販売促進費を抑制し、サービスの進化に注力したこともあり、会員数が、前連結会計年度末（2018年3月末）の88,752人から、当第2四半期連結会計期間末（2018年9月末）には80,031人へ減少しておりますが、概ね計画通りに推移しております。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の業績は以下のとおりとなりました。

売上高	9,926,306千円
セグメント利益	1,765,539千円

④その他事業

当セグメントは、ソリューション事業、店舗事業、海外事業、卸事業等からなるその他事業であります。第1四半期連結会計期間より、らでいっしゅぼーや株式会社の卸事業の業績が加わっております。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の業績は以下のとおりとなりました。

売上高	2,755,513千円（前年同期比27.4%増）
セグメント利益	274,866千円（前年同期比24.8%減）

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比較して801,361千円増加し、20,648,241千円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末と比較して768,926千円増加し、16,030,499千円となりました。これは主に、現金及び預金の増加772,148千円、商品及び製品の増加118,035千円、売掛金の減少261,484千円によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末と比較して32,434千円増加し、4,617,742千円となりました。これは、有形固定資産の増加26,038千円、無形固定資産の減少14,921千円、投資その他の資産の増加21,317千円によるものであります。

当第2四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末と比較して163,706千円減少し、9,634,886千円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末と比較して165,308千円減少し、8,564,376千円となりました。これは主に、その他流動負債の増加194,641千円、未払金の減少215,948千円、賞与引当金の減少90,477千円、買掛金の減少88,862千円によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末と比較して1,602千円増加し、1,070,509千円となりました。これは主に、長期借入金の増加18,484千円、資産除去債務の増加14,67千円、退職給付に係る負債の減少29,988千円によるものであります。

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末と比較して965,067千円増加し、11,013,355千円となりました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益893,752千円によるものであります。

②キャッシュフローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、7,966,278千円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により得られた資金は、1,076,652千円となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益1,101,626千円、減価償却費207,408千円、のれん償却額190,932千円、売上債権の減少額285,510千円、未払金の減少額256,339千円、たな卸資産の増加額179,472千円によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動により使用した資金は、332,877千円となりました。これは主に無形固定資産の取得による支出284,580千円、敷金及び保証金の差入による支出38,734千円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により得られた資金は、29,662千円となりました。これは主に、新株予約権の権利行使に伴う株式の発行による収入45,930千円、リース債務の返済による支出22,212千円によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2018年10月25日付「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表しました通期の業績予想に変更はありません。

なお、業績予想は当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,236,330	8,008,478
売掛金	5,415,701	5,154,216
商品及び製品	918,137	1,036,173
仕掛品	4,435	28,220
原材料及び貯蔵品	207,590	253,802
未収入金	1,335,994	1,334,209
その他	300,077	372,012
貸倒引当金	△156,696	△156,614
流動資産合計	15,261,572	16,030,499
固定資産		
有形固定資産	878,426	904,464
無形固定資産		
のれん	1,506,089	1,348,403
その他	877,657	1,020,422
無形固定資産合計	2,383,747	2,368,825
投資その他の資産	1,323,134	1,344,451
固定資産合計	4,585,307	4,617,742
資産合計	19,846,880	20,648,241
負債の部		
流動負債		
買掛金	4,097,110	4,008,247
1年内返済予定の長期借入金	6,012	7,952
未払金	3,076,648	2,860,699
未払法人税等	266,572	315,650
賞与引当金	90,477	—
ポイント引当金	147,754	132,075
資産除去債務	66,000	66,000
その他	979,109	1,173,750
流動負債合計	8,729,685	8,564,376
固定負債		
長期借入金	41,296	59,780
役員退職慰労引当金	3,300	3,900
退職給付に係る負債	458,874	428,886
資産除去債務	282,649	297,320
その他	282,787	280,623
固定負債合計	1,068,907	1,070,509
負債合計	9,798,592	9,634,886
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,259,797	1,282,961
資本剰余金	5,274,175	5,297,335
利益剰余金	3,510,139	4,403,891
自己株式	△2,065	△2,230
株主資本合計	10,042,046	10,981,958
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,693	4,182
為替換算調整勘定	△1,030	△2,700
その他の包括利益累計額合計	3,662	1,482
非支配株主持分	2,578	29,915
純資産合計	10,048,288	11,013,355
負債純資産合計	19,846,880	20,648,241

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
売上高	18,935,900	31,720,279
売上原価	10,090,709	16,651,328
売上総利益	8,845,190	15,068,950
販売費及び一般管理費	8,607,638	13,953,539
営業利益	237,551	1,115,411
営業外収益		
受取利息	211	94
受取配当金	4,452	4,235
受取補償金	3,625	6,940
その他	20,961	39,780
営業外収益合計	29,251	51,051
営業外費用		
支払利息	142	958
株式交付費	428	472
為替差損	1,320	1,084
持分法による投資損失	1,274	22,447
その他	4,076	2,837
営業外費用合計	7,242	27,800
経常利益	259,560	1,138,662
特別利益		
関係会社株式売却益	—	3,123
特別利益合計	—	3,123
特別損失		
退職給付制度改定損	92,222	—
賃貸借契約解約損	—	40,159
特別損失合計	92,222	40,159
税金等調整前四半期純利益	167,337	1,101,626
法人税、住民税及び事業税	53,865	236,697
法人税等調整額	19,826	△31,485
法人税等合計	73,691	205,212
四半期純利益	93,645	896,414
非支配株主に帰属する四半期純利益	172	2,661
親会社株主に帰属する四半期純利益	93,473	893,752

（四半期連結包括利益計算書）
 （第2四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 2017年4月1日 至 2017年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 2018年4月1日 至 2018年9月30日）
四半期純利益	93,645	896,414
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	—	△511
為替換算調整勘定	△3	△1,669
その他の包括利益合計	△3	△2,180
四半期包括利益	93,642	894,233
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	93,469	891,572
非支配株主に係る四半期包括利益	172	2,661

（3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 2017年4月1日 至 2017年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 2018年4月1日 至 2018年9月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	167,337	1,101,626
減価償却費	204,474	207,408
退職給付制度改定損	92,222	—
のれん償却額	193,705	190,932
関係会社株式売却損益（△は益）	—	△3,123
賃貸借契約解約損	—	40,159
貸倒引当金の増減額（△は減少）	6,215	△118
賞与引当金の増減額（△は減少）	△69,186	△90,477
受取利息及び受取配当金	△4,502	△4,329
支払利息	142	958
為替差損益（△は益）	2	220
持分法による投資損益（△は益）	1,274	22,447
売上債権の増減額（△は増加）	△44,506	285,510
たな卸資産の増減額（△は増加）	△151,012	△179,472
仕入債務の増減額（△は減少）	185,589	△90,865
未払金の増減額（△は減少）	174,378	△256,339
未払費用の増減額（△は減少）	173,355	61,445
その他	△91,520	△22,124
小計	837,972	1,263,857
利息及び配当金の受取額	3,587	3,458
利息の支払額	△142	△958
法人税等の支払額	△137,469	△189,705
営業活動によるキャッシュ・フロー	703,947	1,076,652
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△13,524	△28,480
無形固定資産の取得による支出	△131,503	△284,580
関係会社株式の取得による支出	△34,990	—
関係会社株式の売却による収入	—	21,640
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△12,367	△35,332
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	—	19,766
敷金及び保証金の差入による支出	△349,464	△38,734
その他	△7,962	12,844
投資活動によるキャッシュ・フロー	△549,812	△332,877
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△18,006	△3,891
株式の発行による収入	25,742	45,930
非支配株主からの払込みによる収入	—	10,000
自己株式の取得による支出	△1,202	△164
リース債務の返済による支出	△3,253	△22,212
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,280	29,662
現金及び現金同等物に係る換算差額	△6	△1,889
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	157,409	771,547
現金及び現金同等物の期首残高	5,209,396	7,194,730
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,366,806	7,966,278

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自 2017年4月1日 至 2017年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				その他	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	宅配事業 (Oisix)	宅配事業 (大地を守る 会)	宅配事業(ら でいっしゅ ぼーや)	計			
売上高							
外部顧客への売上高	11,470,498	5,487,173	—	16,957,671	1,978,228	—	18,935,900
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	185,373	△185,373	—
計	11,470,498	5,487,173	—	16,957,671	2,163,602	△185,373	18,935,900
セグメント利益	1,392,019	903,669	—	2,295,689	365,473	△2,423,610	237,551

- （注） 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ソリューション事業・店舗事業・海外事業・卸事業等を含んでおります。
2. 「調整額」のセグメント利益における主な内容は、固定人件費及び各事業セグメントに帰属しない一般管理費等の全社費用であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自 2018年4月1日 至 2018年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				その他	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	宅配事業 (Oisix)	宅配事業 (大地を守る 会)	宅配事業(ら でいっしゅ ぼーや)	計			
売上高							
外部顧客への売上高	13,769,035	5,440,194	9,926,306	29,135,536	2,584,742	—	31,720,279
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	170,770	△170,770	—
計	13,769,035	5,440,194	9,926,306	29,135,536	2,755,513	△170,770	31,720,279
セグメント利益	1,943,350	785,602	1,765,539	4,494,492	274,866	△3,653,947	1,115,411

（注）1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ソリューション事業・店舗事業・海外事業・卸事業等を含んでおります。

2. 「調整額」のセグメント利益における主な内容は、固定人件費及び各事業セグメントに帰属しない一般管理費等の全社費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは、2018年2月28日にらでいっしゅぼーや株式会社の株式を取得し、らでいっしゅぼーや株式会社を連結の範囲に含めたことにより、前連結会計年度より、報告セグメント「宅配事業（らでいっしゅぼーや）」を追加しております。

なお、「連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更」に記載のとおり、従来、連結子会社のうち決算日が2月28日であるらでいっしゅぼーや株式会社については同日現在の財務諸表を使用し、連結決算日との間に生じた重要な取引については必要な調整を行って行いましたが、第1四半期連結会計期間より、当該子会社については連結決算日に本決算に準じた仮決算を行う方法に変更しております。

この変更により、当第2四半期連結累計期間は、2018年3月1日から2018年9月30日までの7か月間を連結しており、仮決算を行う当該子会社の2018年3月1日から2018年3月31日までの売上高は宅配事業（らでいっしゅぼーや）セグメントが1,508,490千円、その他事業が88,844千円、セグメント利益又はセグメント損失（△）は、宅配事業（らでいっしゅぼーや）セグメントが253,820千円、その他事業が△8,446千円、調整額が△175,449千円であります。